

春夏秋冬 夏夏夏夏!?

地球の温度は、太陽から送られてくる熱（日射）と、その熱によって暖められた地表から宇宙へ放出される熱とのバランスにより定まっています。

地球を取り巻く大気中に含まれる二酸化炭素などの温室効果ガスは、地表から宇宙に向かって放出される熱を吸収し、再び地表に放射する性質があり、この働きによって地表の平均気温は約15℃に保たれています。

しかし、経済活動の活発化などに伴い、人類が石炭や石油などの化石燃料を大量に燃やすようになったため、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量が急激に増加しました。

その結果、宇宙への熱の放出を抑える温室効果が強まり、地球の気温が全体的に上昇しています。これが地球温暖化と呼ばれる現象です。



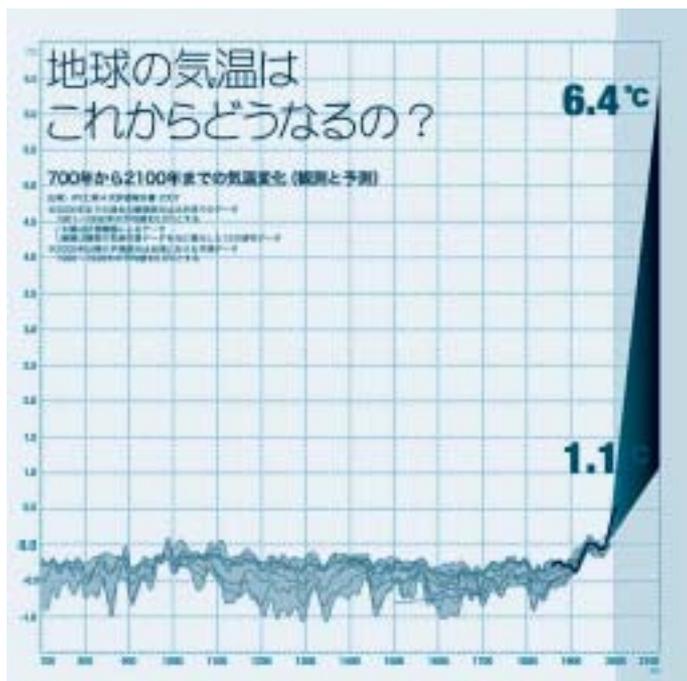
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<http://www.jccca.org/>)より

地球の気温はどうなるの!?

地球温暖化の影響により、2100年までに地球全体の平均気温が1.1～6.4度上昇し、海面が19～58cm上昇するともいわれています。日本でも、海面上昇による海岸の侵食、マラリアなど熱帯の感染症の発生、農業等への悪影響など、私たちの生活への深刻な影響が心配されています。



< 出典：環境省「地球温暖化の日本への影響2001」
国立環境研究所 江守正多「地球温暖化の将来予測と影響評価」>
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<http://www.jccca.org/>)より



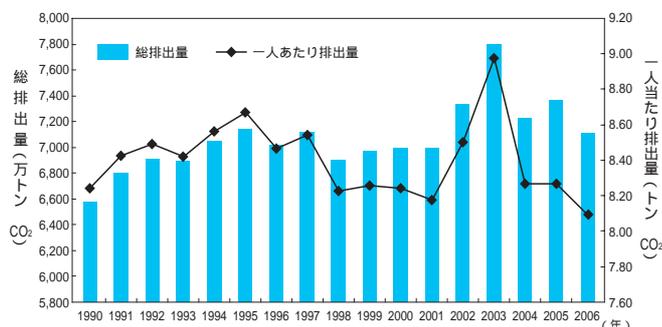
< 出典：IPCC第4次評価報告書2007 >
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<http://www.jccca.org/>)より

神奈川県ではどのくらい排出されてる?

2006年の県内の二酸化炭素排出量は、7,157万トンで、1990年と比べ、10.0%の増加となっています。なかでも、オフィスビルなどの業務部門や家庭部門からの排出量の増加が目立っています。

家庭から出る二酸化炭素のうち、最も割合が大きいものが自動車で約3割、照明と家電製品からのものがほぼそれと同じくらい、そのあとが給湯、暖房となっています。地球温暖化を防ぐためには、こういった身近なところから出る二酸化炭素を減らしていくことが大切です。

神奈川県の二酸化炭素排出量の推移



地球温暖化を防止するために

県では、神奈川から温暖化防止に貢献するため、2008年1月に「クールネッサンス宣言」を行い、私たち一人ひとりが「地球市民」として、地球温暖化問題の深刻さに気づき、意識・行動を変えていくことを呼びかけました。この宣言を推進するため、県ではさまざまな取組を進めています。例えば、家庭でできる身近な地球温暖化対策としてレジ袋の使用抑制キャンペーンやマイバッグの使用をすすめる“NO”レジ袋プロジェクトや2014年までに県内3,000台の電気自動車を普及させる電気自動車（EV）普及推進プロジェクト、地球にやさしい明かり“電球形蛍光灯”の使用をすすめる“NO”白熱球プロジェクトなどです。

“NO”白熱球プロジェクトについて紹介します

県では、家庭でできる身近な地球温暖化対策として、地球にやさしい明かり“電球形蛍光灯”の使用をすすめています。

電球形蛍光灯は、こんなに地球にやさしい！

電球形蛍光灯は白熱電球に比べ、エネルギー効率が高く、地球温暖化の原因であるCO₂排出量が少ない、地球にやさしい明かりです。

- ・県内の家庭で使用される白熱電球は、約835万個
- ・これが全部電球形蛍光灯に替わると、1年間で約26万トンのCO₂が削減！
- ・これは、森林約3,700万本（35年生の杉の場合）が1年間に吸収するCO₂の量に相当！



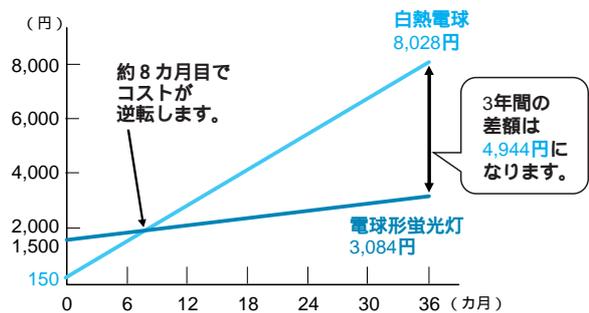
電球形蛍光灯は、こんなにお得！

白熱電球を電球形蛍光灯に交換すると、3年間で1灯あたり約4,900円の節約に！

54W(60型)の白熱電球と、同じ明るさに相当する12Wの電球形蛍光灯を比べると、電球形蛍光灯の寿命は白熱電球の約6倍。電気代は1/4以下。

価格は高めですが、電気代は少なく、結局お得です。

電気代については年間約1,850円の節約になります



<資料：日本電球工業会提供資料より作成>

電球形蛍光灯

ランプ代(1,500円×1個)+電気代(0.022円×12ワット×6,000時間)
1,500円+1,584円=3,084円

白熱電球

ランプ代(150円×6個)+電気代(0.022円×54ワット×6,000時間)
900円+7,128円=8,028円

注：ランプ代については、(財)省エネルギーセンター「省エネ性能カタログ2008夏」に掲載された価格を基にしています。

他にもこんな取組があるよ！

新エネルギーの導入

県では、県の施設への新エネルギー設備の導入を進めています。平成19年度は東部総合職業技術校等に太陽光発電システムを、茅ヶ崎里山公園に木質チップボイラーを導入しました。

新エネルギー・省エネルギー学校派遣事業

学校教育を通じて新エネルギー・省エネルギーの普及啓発、導入促進を図るため、豊富な知識・経験を持つ企業や市民団体等の方々に講師として小・中学校、高校等で実験等を交えた体験型の授業を実施する「新エネルギー・省エネルギー学校派遣事業」を行っています。平成19年度は57校で授業を実施しました。



新エネルギー・省エネルギー学校派遣事業の様子

マイアジェンダ制度

環境に配慮した自主的な取組を宣言・登録し、実践する「マイアジェンダ」制度を推進しています。また、ホームページ内に各家庭のパソコンで電気やガスなどの使用量を入力すると二酸化炭素排出量が自動的に計算されるサイト「かながわ環境家計簿 エコポ」を開設し、利用していただいています。